

良く聞きするけど、実は意味がよくわからない
そんなデジタル・IT(情報技術)用語

1位 Wi-Fi (ワイファイ)

限られた範囲でパソコン同士やパソコンとインターネットを無線でつなぐ、「無線LAN」の通称として主に使われる。

2位 3G、4G

「G」は「Generation」の略で 3Gは第3世代携帯電話、4Gは第4世代携帯電話の総称。世界初の3Gの商用サービスは、2001年にサービスを始めたNTTドコモのFORMA。

3位 プラチナバンド

携帯電話が使う周波数のうち、障害物の影響を受けにくく、電波がつながりやすい700~900Mhzの帯域を指す。プラチナのように貴重な帯域という意味。

4位 アンドロイド

米グーグルが開発した、スマートフォンやタブレット端末に使われるOS(基本ソフト)。無償で使えるので多くのメーカーが使用している。

5位 プロパティ

ウィンドウズパソコンの場合、其の機器やファイルに関する様々な情報を確認できる場所。文書ファイルのプロパティを見ればファイルの大きさや作成時期がわかる。

6位 タブレット

もともとはペンで入力する平たい装置の事。最近ではiPadのように、画面を指で触って操作でき、スマートフォンより大型の「タブレット端末」のことを指す。

7位 ワンセグ

携帯電話などでテレビ放送を見るためのサービス。13に分割できる地上デジタル放送の周波数のうち、1つの部分(セグメント)を利用するので「1セグ」と呼ぶ。

8位以下

アプリ、コンテンツ、ブラウザー、光回線サービス、……

◆ もはや死語 「マルチメディア」「ユビキタス」など



2012.11.03 日本経済新聞(朝刊)より